

平成 29 年 9 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード:4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3746)

がん治療用抗体 LIV-1205 に関するライセンス契約締結のお知らせ

当社は、本日付で、ADC Therapeutics 社（本社、イパリンジェス、スイス、以下、ADCT 社）とがん治療用抗体 LIV-1205（以下、LIV-1205）の Antibody Drug Conjugate（以下、ADC）開発用途における開発、製造および販売に関するライセンス契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

本ライセンス契約により、当社は ADCT 社に、LIV-1205 の ADC 開発用途に限定した全世界での独占的なサブライセンス権付の開発、製造および販売権を許諾することになり、ADCT 社では今後、臨床試験実施に向けた研究開発が推進される予定です。本契約の締結に伴い、当社は ADCT 社より契約一時金を受領いたします。

また、本ライセンス契約は、オプション契約における経済条件を踏まえて、開発及び販売の進捗に応じたマイルストーンと製品上市後には製品の売上高に応じたロイヤルティを受領する経済条件となっております。

なお、本契約締結後も LIV-1205 の ADC 開発用途以外での権利は引き続き当社が保持し、開発及び導出活動を継続いたします。

本ライセンス契約締結により受領する契約一時金は、平成 29 年 12 月期第 3 四半期において売上として計上いたします。なお、本件による平成 29 年 12 月期通期業績予想に対する影響は軽微であります。

以 上

<ADC について>

抗体薬物複合体（Antibody Drug Conjugate）のことを指します。ADC の特徴は、悪性腫瘍や炎症性疾患等の目的の組織や細胞表面タンパク質（抗原）に特異的に結合する抗体に抗がん剤等の薬物を結合させることにより、薬剤を病変部位に選択的に到達させ、細胞内に放出させることで、がん細胞等を死滅させることができます。

<ADC Therapeutics 社について>

ADCT 社はスイスのローザンヌ地方に本社を置く ADC 開発のリーダーで、ADC 技術を用いて、固形がんおよび血液がんの両方を対象とした独自のがん治療薬を開発しています。現在は、ADCT-301 と ADCT-402、ADCT-502 の 3 つの ADC の臨床試験を実施しております。

なお、ADCT 社に関する詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。<http://www.adctherapeutics.com/>

<LIV-1205 について>

LIV-1205 は、肝臓がんを中心とする固形がんの細胞表面に発現している抗原（標的分子）「DLK-1 (Deltalike 1 homolog)」に結合し、がんの増殖活性を阻害するヒト化モノクローナル抗体です。DLK-1 は、幹細胞や前駆細胞といった未熟な細胞の増殖、分化を制御すると考えられており、肝臓がんの細胞表面に発現し、その増殖に関与していることが発見された、新しいがん治療の標的になりうる可能性がある分子です。